

栗山川浄化啓発作品の入賞者決定

「ふるさと」の川を愛する気持ちと願いが切々と

栗山川汚染防止対策協議会では、栗山川の汚染防止意識を高めてもらうと、毎年、近隣市町村の小中学生に、同河川の浄化啓発作品を募集していますが、このほど今年度出品された作品の審査がおこなわれ、入賞したみなさんにそれぞれ賞状と記念品が贈られました。

第19回目となった今回は、栗山川周辺の9市町村、33の小中学校から作文や標語、ポスターなど合わせて549点の応募がありました。どの作品も「ふるさと」の川栗山川を愛する気持ちと願いが切々と表現されていました。入賞作品は、今後の栗山川汚染防止の啓もう等に活用される予定です。

各部門の当町からの入賞者

—敬称略—

作文の部

最優秀賞

優秀賞

優良賞

優秀賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

早川沙織 (上堺小6年)
林茉由子 (横芝小6年)
瀬理仁美 (大総小4年)

齊藤香織 (横芝中1年)

川島千枝 (横芝中3年)

川東翔 (上堺小6年)

行木淑美 (横芝小5年)

齊藤光芳 (横芝中1年)

神保恒介 (大総小5年)

神保美加子 (横芝中1年)

大木嵩雄 (横芝小6年)

越川俊 (横芝小5年)

ポスターの部

優秀賞

優秀賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞

優良賞



栗山川をきれいにしよう
上堺小 六年 早川沙織

家庭で使った水は、どこをどのように通って栗山川に流れていくのか調べてみました。

一番目に台所の流しを調べました。流れ口には、細かい網が取り付けてありました。

網には、なべや食器を洗ったゴミが流れないで残っていました。網の目は、よく見ると縦と横が二ミリくらいでした。だから、ごく小さいゴミは網をくぐりぬけてしまうことに気づきました。

網からどんな物が通り抜けていくのか実験をしました。スプーン一ぱいのみそしるを、網を通してコップの水に流してみしました。水はおうど色になりました。網をくぐりぬけた物が下にだんだんしずんで、上の

方の水はすきとおってきました。とん汁のような油を使った汁は、水面に油のつぶがいつまでも浮いていました。

二番目に、流しから通じる最初のマンホールを調べてみました。周りには、油っこいべとべととした物がくつき底のほうはにごって汚れていました。

三番目は、マンホールから流れ込む簡易浄化槽の様子を見ました。中は、四つの部屋に区切られていました。一つ目の部屋で水に混ざっていた重い物がしずみ、二つ目の部屋に流れていく。そして、ゴミをしずめながら三つ目、四つ目の部屋に流れつく。そこから太いパイプを通して車道わきの側溝に流れていきます。

四番目は、側溝の様子です。たまっている水には、緑色のどろどろした物が浮いたりしずんだりしていました。どぶ臭いにおいがしていました。

側溝を通った排水は、近所の排水と合流しながら小川に流れ込みました。小川には、家庭の

排水以外にも、田の水や工場の水も流れ込みます。そして、栗山川に流れていきます。

家庭でも、いろいろ工夫してよごれた水を流さないようにしていることがわかりましたが、私は、もう少し工夫してよごれの取り方を調べてみました。

まず、油を流さないようにするには、食器やなべは紙や布でよくふきとってから洗います。てんぷらなどに使った油は、牛乳パックに入れて燃えるゴミとして出します。

つぎに、パレットの絵の具やすずり、筆のすみは紙にしみこませて、よくふきとってから洗います。

それに、ふだんから食べ残しを少なくすることも大切だなと思いました。

まだまだ工夫することがたくさんあるように思いました。栗山川の水は、横芝町だけでなく、南房総の町のほうまで水道の水として使われています。栗山川をみんなできれいにしましょう。